

スポーツセミナー

車椅子バスケットボールとシッティングバレーボール

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは選手の方々の素晴らしい活躍に毎日感動を覚えた人も多く、また、まだまだ多くの人に知られていない競技をテレビを通して知ることのできるオリンピック・パラリンピックはいい機会だと思います。

当センターでは今年度から「障害者差別解消法」が施行されたこともあり、誰もが体験できるパラリンピックの種目である「車椅子バスケットボール」と「シッティングバレーボール」に着目し、皆さまにご参加いただけたらと思い計画しました。

東京オリンピック・パラリンピックがより身近なものに、そしてここから日本代表になるための1歩になればと思っています。

皆さまのご参加をお待ちしています。

1 日 時 平成29年2月19日(日) 午前10時～12時

(車椅子バスケットとシッティングバレーは時間を分けて行います。)

2 場 所 三木市立三木コミュニティスポーツセンター

三木市加佐572番地 tel 0794-83-3434

3 対 象 どなたでも

※ただし、障がいのある方は介助者同伴でお申込みいただく場合がございます。また運営の都合上障がいの程度を確認させていただきます。

4 指 導 者 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 体育指導員

5 参 加 料 無料

6 持 ち 物 運動のできる服装、体育館シューズ、飲み物等

問合せ・申込み

三木市立三木コミュニティスポーツセンター

〒673-0402 三木市加佐 572 tel 0794-83-3434 fax 0794-83-3215

※お申込みはお電話・fax でお願ひします。fax でお申し込みの方はお名前・年齢(学年)・参加人数・所属(学校名)・連絡先(電話番号)・障がいのある方は障がい名(程度)と介助する方がいらっしゃる場合は介助する方のお名前もお書きください。また、未成年者の参加の場合、保護者名もお知らせください。

車いすバスケットボールとは？

車いすバスケットボールのルールは一般のバスケットボールのルールとほぼ同じですが、スピードや敏捷性^{びんしょうせい}、持久力に加えて、車いすを操作する技術などが決め手となります。



<主な特有のルール>

○トラベリング…選手がボールを持っているときのプッシュ(車椅子を手でこぐこと)は、連続2回までです。3回以上プッシュするとトラベリングとなり、相手チームのスローインになります。

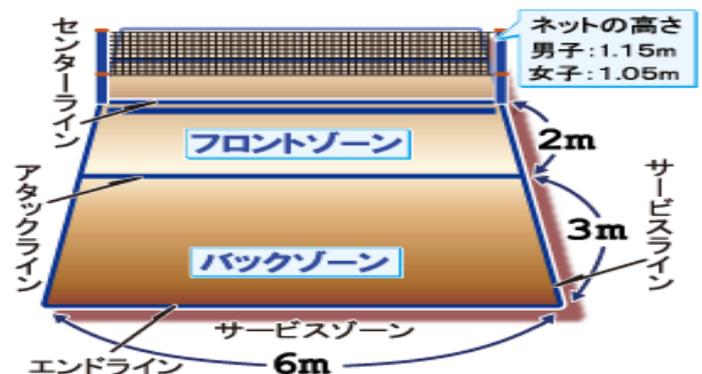
○ダブルドリブル…車椅子バスケットボールでは、ダブルドリブルは適用されません。こぐ(プッシュ)のが2回以内でドリブルをすれば、またこいでもよいことになっています。(以下何回でもできます。)

※それ以外に、「車椅子が転倒した場合」や「試合をするうえで障害の程度によりチームの持ち点」が決められているなどのルールがあります。

[日本車椅子バスケットボール連盟 HP より一部抜粋]

シッティングバレーボールとは？

シッティング(座ったままで、または座ることの意)バレーボールは、床に臀部^{でんぶ}の一部が常に接触したまま行うバレーボールといえわかりやいでしょう。(ここでの「臀部^{でんぶ}」とは「上体」のことであり、肩から臀部^{でんぶ}までの部位をいいます。)



<主な特有のルール>

基本的には6人制のルールとほぼ一緒です。

「スパイクやブロックを行うときに臀部^{でんぶ}をコートから浮かしてはならない。」や「レシーブの時は多少の離床が許される。」など特有のルールが存在します。

[日本パラバレーボール協会 HP より一部抜粋]

※シッティングバレーボールは、健常者だけでもチームを作ることができます。